釜石てっぱんマップ

KAMAISHI TEPPAN MAP

歩いて 楽しい

Ver. 1.0

ここで言う“てっぱん”は、他人はともかく自分が自慢したいもの（と、勝手に定義）。釜石を歩き、知るための水先案内にしていただきたく、市民アンケートなどを通じて釜石の「食」や「おすすめスポット」「エピソード」などの“てっぱん”を集めました。また、今は失われたかつての記憶も散りばめられた「釜石てっぱんマップ」は、懐かしくて、新しい「まち歩き地図」です。

中心市街地 拡大マップ

釜石の人間は“マチ”と呼ぶ

0 50 100（おおよそ）単位：メートル

この界隈には、七輪・火鉢・お釜を植木鉢にしているお宅が散見。

よつばや ハンバーガー

大渡橋、元橋上市場
大渡橋の隣に、伊フィレンツェのポンテ・ベッキオとともに世界に二つと言われた「橋上市場」が併設されていた。

大町ほほえむスクエア
個性あるキッチンカーが集合。

田丸スポーツ

ろばたや あんず棒サワー

工藤精肉店
1Fでは焼鳥を店頭販売。2Fは食堂部で、カツカレーやチキンカツなどボリューム満点。

釜石小学校

林芙美子「波浮の歌碑」

多勇館造
多くの釜石市民がこよなく愛する「勇魚醤油」の工場。

ホテルマルエ

石屋ネーション（菊地石材店）
石材店だが、冬になると冒険ヘリスキーツアーションに腰われる。

のぞみ病院

新生釜石教会

松坂屋とれびに店

ケンスポーツ

B 大町

ハピスコーヒー

TOKUZO
揚げもの、お弁当。

JA

割烹丸高
あめしかおいしい。

喜久含
塩焼きそば、五目ラーメンがおいしい。

釜石よいさ
8月に行われる釜石の夏の祭典。震災後、途絶えたが、13年に復活

大正軒

旧警察署跡

イオンタウン 釜石

エヌエスオカムラ工場

薬師公園
市街が一望できるビューポイント。桜の名所。どんと鎮座する砲弾はレプリカである。

まつや
料理がおいしい。

青葉ビル
1Fは津波の被害にあったが、仙ロクシタン社によってリニューアルされた。

台座が波の造形をしている

佐野酒店
ワイン、輸入食材の品揃えが豊富

あいどる
喫茶店だけど、釜石ラーメンもある。

石應禅寺

石應禅寺の山門
山門の下で手を叩くと音が響く！

仙寿院
市街や海がきれいに見える。

釜石バンション
上階からの眺めは素晴らしい。

復興天神15商店街

宝樹寺

青葉公園商店街

鶴の湯

一館
時間の概念を見失した喫茶店。和風スパゲティが人気。

MESA
カレーがおいしい。

多田旅館

青龍
みそチャンポン

釜石郵便局

珈琲館
コーヒー

養老の滝 塩焼鳥

市民文化会館（閉館中）

堀医院

漆医院

狐崎稲荷社
鉄製の鳥居。

一助
寿司の名店。

新華園本店
釜石ラーメン発祥の店

卵

庄子医院

井上ひさしの青春の1ページ
若き日に釜石で過ごした作家井上ひさしがバイトしていたお店がこのあたりにあったそう。

避難道路
橋梁のクレーンなど港の眺めがきれい。

大町バンション

魚安

ホテルサンルート釜石

ベイシティホテル
1Fにローソン。

市役所前

みんなの家 かたって

市営ビル
現在のビルは7代目。かつてはここに尾崎神社があったが、明治29年の大津波で流出した。

海上保安庁

B 釜石駅前

つばは八

銅不孝通り
震災前と変わらぬ雰囲気の飲屋街。

瓦斯のマンホール
林文二さんが製いた「瓦斯」と漢字で書かれたマンホール。古くから釜石の港が都市化されていることがうかがえる。

レンガの遺構
この橋がここにあったと推定される。

この橋
このあたりにあった？

呑み兵衛横丁跡
釜石名物「呑み兵衛横丁」は震災前はここにあった。

釜石警察署（仮設）
元々は旧釜石二中跡。同校の体育館は、映画「遺体」のモデル。

鈴久酒店

みやこ食堂

いなかっぺ

大和鮨

居酒屋「まこと」
どこか懐かしい味。「焼きそば」がおすすめ。

怖いトンネル（烏ヶ沢隧道）

昔はこのあたりに駄菓子屋が多かった。

勝力
先輩、来釜の安倍総理が昼食を取った寿司屋さん。

釜石中学校
旧八雲小学校跡に建つ。玄関前にある「創造」の碑の揮毫は、釜石にとって恩人的な存在、三鬼陸元八幡製鐵社長の長男、三鬼彰元新日鐵会長。

「旧道」
旧国道45号線で、通称「旧道」。ウォーキングをする姿も見られ、途中には沢水が湧めるところも。

ゼロ番地
昭和50年代ごろまで、このあたりに「ゼロ番地」と呼ばれる居住区があった。

駒木山不動尊

「鉄道」がとれる？
甲子川流域では「ヒヒイロカネ」とも呼ばれる鉄鉱が見つかることも

釜石はまゆり飲食店街
マチで愛された飲食店が営業中！

こんとき
「東京ラーメンショー」にも出店した釜石ラーメンの名店。

和
餃子がうまい。

点々
「呑み兵衛横丁」にある餃子のお店。

呑み兵衛横丁

教育センター

郷土資料館

B 教育センター前

楽王堂

岩手銀行

ケーズデンキ

B 鈴子

マイヤ

B 製鉄所前

B シープラザ前

シープラザ釜石

交番

製鉄所元購買部跡

鈴子郵便局

新日鐵住金（株）釜石製鐵所

ローソン

B 釜石駅前

さんてつジオラマカフェ

トヨタレンタリース

資材ヤードだった

JR 釜石駅
構内の立ち食いそばはラーメンもおいしい。

井上ひさし作詞の「釜石小学校校歌」石碑

大島高任 銅像

サンフィッシュ釜石
鮮魚店が多数（夏頃にはマンボウなども並ぶ）。釜石ラーメン、朝食を食べられる（駅前食堂）。

白龍
ホルモン旨い。

三陸鉄道の鉄橋

三の橋
一般車両は通行不可。

火力発電所
夜景がきれい。

中番廊
昔はこの辺りは三角州の湿地帯で小さな沼などがあったそう。

旧朝日町
昔の飲み屋街。

この辺りは昭和30年代に埋立て

夜景がきれい

公共埠頭
海辺のクレーン。

矢の浦橋
江戸時代は渡し船でつなぐ。

避難道路
橋梁のクレーンなど港の眺めがきれい。

尾崎神社 鉄製の大鳥居。

幸様
釜石の奥座敷。このあたりは昔は沢村と呼ばれ、花街でもあった。

浜町集会所
建物がなかなかおしゃれ。この界隈、味わいのある建物多し。

西ノ澤不動尊

尾崎公園
別名「アスレチック公園」。海がきれいに見える。5月には「躑躅まつり」が行われる。

今は更地が広がっているけど、ここは、釜石の繁栄がここから始まった“ザ・釜石”なエリア。

曳舟
10月の安船祭りでは、流鏑馬や子供楽を乗せた曳舟も登場する。

カフェ HAMAYUI

魚河岸食堂

魚市場（鮮魚中）

鯉のクレーン
別名「緑のキリン」。釜石港ならではの景観。

初代の市営ビルと大型船。外国船が多く入港する環境から、市内にはどこか“ハイカラ”な雰囲気がもたらされた。

昭和30年代の様子。後ろに見える「5本煙突」は釜石名物と言われた。（絵はがき提供：釜石市郷土資料館）

ホルモン 新栄軒（錦）
ホルモン、ホルモンラーメンがおいしい店。震災後は市内内陸部の定内に移転。

釜石ごん太
回転すし

石村工業
ペレットストーブ製造。

大平中学校

釜石商工高校

海を望む 商工高のグラウンド

N

中心市街地拡大マップへ

〈凡例〉
- 食 ——「釜石ラーメン」に三陸の海の幸！
- 酒と肴 ——夜は新鮮な魚介と人情を肴に楽しい一杯。
- 風景 ——高台からはきれいな海が見えるよ。
- まちの記憶 ——かつての賑わい、生活の匂い……
- おみやげ ——釜石みやげはまずここをのぞいてね。
- B バス停 ——歩き疲れたら無理せずバスを。

三陸自動車学校
校舎は、明治43年竣工の和風建築（鬼家で移動）。「釜石より大きく」と校名を命名したのは、元市長の鈴木東民。

桜木町仮設住宅団地

小川川の桜並木
釜石でも人気のサクラスポット

小川マーケット
昭和テイストを色濃く残すマーケット。林文二さんが注目した、全国でも珍しい昔ながら建築。

三重食堂
やさしい風味の釜石ラーメンで根強い人気。

山神社
鉄製の鳥居。

釜石市民弓道場
弓道の専門道場。珍しいよね？

「釜石中央IC」建設予定
このあたりに、三陸縦貫道の「釜石中央インターチェンジ（仮）」ができる予定。

六の橋？
今は暗きょになっているが、このあたりに「六の橋」があったと推測される。

ドコモショップ
昔は、上中島マーケットがあった。

ごとうや
昭和のゲーム小僧のたまり場。

あゆとく
自家製麺の釜石ラーメン、スリランカカレーなどのカレーやタンメンも人気。

みつわや

岩井小児科医院

鈴木歯科医院

乗山荘
製鉄所所有の「釜石の迎賓館」。

鹿望台（東屋）
木を切れば
もっと景色が良いのに…

八雲神社
釜石総鎮守。鳥居、扁額ともに鉄製。鉄剣（魔除け）などがいっぱい。1月に裸参り、4月に例大祭、甘酒による石段掃除は旧釜石二中生の鍛錬の場。

「水」の止水栓
林文二さんが製いた「水」のマンホール。かなり古いものらしい。

中妻町仮設住宅団地（昭和園）
現在は仮設住宅が立ち並ぶが、ここは三鬼陸の芳力にて昭和5年に「昭和園グラウンド」として開園した。

コーボ中妻
昭和の団地の雰囲気。よく見ると窓のデザインが違う。

昭和を感じさせるデザインの看板多し。通りもとこかのんびり

中妻郵便局

岩手銀行

居酒屋横

飲み屋街「大名横丁」跡
もう無い。今は駐車場になっている。

新華園 NAKAZUMA
あっさりめの釜石ラーメン。エビそばもおいしい。

中妻門

栄湯

文化タクシー

すずらん通り
居酒屋や和幸はじめ、スナックなどが軒を連ねる。

さかえ食堂
トンカツ定食。

白岩食堂
ホルモンが旨い。

三閉伊一揆の指導者 三浦命助 宿泊？
かつては京都石工門沢と呼ばれていた。

三閉伊一揆の進軍ルート？

安全の大プレート
昭和50年代ごろまで、山の中腹に「安」「全」の白い大きなプレートが掲げられ、国道から見えた。

通称ケンクライン
かつて「のろ」と呼ばれる鉄滓を捨てていた山。14世紀ごろには、八幡館と呼ばれる館があった。

小泉医院

ハロー薬局

まるまつ

B 昭和園前

B 中妻

平治旅館

中田薬局

かっぱ寿司
以前のビルは洋画系の映画館「富士劇」があった。地下は飲み屋街だった。

五の橋

旧中妻マーケット跡

橋の跡

サンバルク

牛牛 ゲオ

サンデー（ホームセンター）
以前はボーリング場でした。

ローソン

SMC

駐車場（銭湯跡）
かつて製鉄所の鉄滓がありました。

B 上中島

B 双葉小学校前

B 合同庁舎前

B 小川入口

JR釜石線

SL銀河

大森書房

合同庁舎
ハローワーク釜石

双葉小学校

NTT
かつては、この場所に釜石高校があった。

七の橋

及川旅館

283

B 小佐野

更科

釜石市立図書館

甘太郎
以前は橋上市場で営業していたタイ焼き、大判焼きの老舗。

納堂菓子店

交番

小佐野小学校

楽王堂

北日本銀行

JR小佐野駅
うす緑いろのかわいい駅舎。

甲子川
今は鮭が戻ってくるようになった清流。

ジョイス（スーパー）
昭和50年代前半ごろまでは田舎工場が建っていた。

源太沢

上中島仮設住宅団地（多目的グラウンド）
かつては製鉄所のハモニカ長屋があった。多目的グラウンドを経て現在仮設住宅団地。1981年、ここで新日鉄ラグビー部とNZの名門クラブボンソンビーの試合が行われた。

昭和40年まで、今の国道283号上を「社線」と親しまれた列車が鉱石や市民を乗せて走っていた。

「社線」の最終列車。この機関車は、現在「鉄の歴史館」の敷地で見ることができる。（写真提供：日下写真）

1 オススメコース 約4.8キロ（約2〜3時間）

「昭和が香る中妻・上中島・小川。鉄の下町探検」コース

明治期からの歴史を代表する産業都市釜石。ずっしりとした街並みには、製鉄が最盛期だった昭和の風景と文化が残ります。

釜石駅 ▸ 大島高任像 ▸ 五の橋 ▸ 八雲神社（鉄の鳥居）▸ コーボ中妻（団地）▸ 乗山荘 ▸（上中島）▸ 甘太郎 ▸ 七の橋 ▸ 三重食堂 ▸ 小川マーケット ▸ 三陸自動車学校 ▸ 小佐野駅 or 釜石駅

2 オススメコース 約4.6キロ（約2〜3時間）

「復興の槌音と美味しい釜石」コース

復興を引っ張る観光や文化資産。市民の頑ん張りを支えるソウルフードをたっぷりと。高台からの美しい海の眺めもオススメ！

釜石駅 ▸ ジオラマカフェ ▸ サンフィッシュ ▸ 大漁橋 ▸ 平和観音像（栗林公園）▸ 青葉ビル ▸ 青葉公園商店街 ▸ 石応禅寺 ▸ みんなの家かたって ▸ 浄流魂 龍勝（高台）▸ 市営釜石ビル ▸（只越）▸ 新華園本店 ▸ 大町ほほえむスクエア ▸ 工藤精肉店 ▸ 釜石駅

KEYWORD 1【かまいしらーめん】

釜石ラーメン

製鉄所などで働く人たちが待つことなく、さっと食べられるようにと生まれたとされる、極細ちぢれ麺とあっさりスープが特徴の「釜石ラーメン」。市民それぞれに“てっぱん”のお店があり、お店ごとに個性あるラーメンが味わえるので、1軒と言わず2軒、3軒と食べ比べもお試しあれ。

KEYWORD 2【てつのまち かまいし】

鉄のまち釜石

南部藩士・大島高任が安政4年（1857）、釜石市最西部にある大橋に洋式高炉をつくって以来、釜石は今日まで鉄づくりに関わってきた。そうした“鉄のまち”らしく、鉄製の鳥居はじめ鉄でできたものが多く見られるので、磁石を手にしてまちの中に鉄を探すのも密やかな楽しみ。河原などで餅鉄が見つかるかもしれません。

KEYWORD 3【とらまい】

虎舞

釜石を代表する郷土芸能。市内には14の虎舞団体があり、それぞれ特徴ある舞いを祭りなどで披露。「虎は一日にして千里走って、千里帰る」の謡から、漁師が無事に帰ることを祈願するために広まったとも。「いっぱい飲まねば、気がすまねえ」のかけ声の一節は、いかにも釜石っぽい。

KEYWORD 4【すずき とうみん】

鈴木東民

「橋上市場」「呑ん兵衛横丁」を発案した、異才の元釜石市長（昭和30年〜42年）。戦前に電通特派員としてドイツに派遣され、日本で初めてナチスを批判した。在任中は公害対策にも積極的で、甲子川に鮭が戻ってくるようになったのも東民の尽力が大きい。ちなみに、弟の名は北民。

KEYWORD 5【なんばーぶりっじ】

ナンバーブリッジ

明治13年、鉱山のある大橋と釜石港を結ぶ鉄道が開設。日本で3番目の鉄道だった。このとき架けられた橋は港側から「一の橋」「二の橋」…とナンバリングされ、「二十一の橋」まであったという。今も現役なのは三、五、七、八の橋だけど、今はなき橋跡のヒントがマップ内にあるよ。

意外と知られていない KAMAISHI TRIVIA

釜石エピソード

●「釜石」の語源はアイヌ語で「クマ・ウシ（魚を干すところ）」（諸説あり）●「ナウマン象」で知られるナウマン博士が地質調査に来ていた。●日本の海図第1号は、釜石港。●駅前の銅像などで洋装姿が有名な大島高任だが、大橋や橋野で鉄づくりに奔走していたときはマゲ姿だった。

釜石を歩いて。—1 FROM 林丈二さん（路上観察家）

釜石は「鉄の街」だから、鉄石持参で釜石の街を歩いた。「鉄、鉄、鉄」と頭に描いていると、あるわ、あるわ…、神社の鳥居やその他の備品。マンホールの蓋にも、戦前のものかもしれないものもチラホラと。港にはまるでクレーンの博覧会場かと思えるほど、多種多様のものがカタログ状態で立ち並んでいた。鉄マニアにはたまらない街である。

釜石を歩いて。—2 FROM 森まゆみさん（作家・編集者）

「日清日露も、新幹線も、パチンコ玉も、自動車のタイヤも釜石の鉄なくしてはあり得なかった。釜石には橋野高炉はじめ遺構が残っていて町の誇り。それと細い縮れた釜石ラーメン、メカジキにどんこ、ああ、いますぐ行って食べたい！」

1「釜石まち歩き」で心がけたい、いくつかのこと。
・まち歩きや写真撮影の際には、プライバシーに十分配慮しましょう・社有地や私有地、更地などに標手に入らない、ゴミは各自で持ち帰るなど、マナーを守りましょう・大きな揺れを感じたり、万が一の場合には、市の防災無線などに従いながら、近くの高台に避難しましょう。

釜石てっぱんマップ ver.1.0 ©釜石てっぱんマップ制作委員会 ★企画・制作：釜石てっぱんマップ制作委員会（一社）釜石まるごとホテリーリゾーティーズ、釜石スイエンジャ本陣所、有限会社コンテンツ計画、株式会社アプリイー ★代表者：千葉千恵子さん、制図担当：株式会社サポート3.5次（MOO.M5、2014年3月）★アドバイザー：林丈二さん、森まゆみさん ★制作協力：釜石てっぱんマップ制作委員会（一社）釜石まるごとホテリーリゾーティーズ、釜石スイエンジャ本陣所、有限会社コンテンツ計画、株式会社アプリイー、デザイナー：村手恭